

館報のデジタル化を考える



広報まつもとや市議会だよりなどの冊子は、最近スマートフォンアプリでも閲覧することができるようになりました。対して館報は、紙媒体での町会加入世帯への配布、また、ホームページでの閲覧が可能です。

そこで、館報のデジタル化について、編集委員で話し合ってみました。

- ・スマートフォンを使用したこのない世代がいるうちは、やらないでほしい。その後ならいいのでは？
- ・スマホできない人がいなくなるまでは…
- ・読めなくなる人がいる、一方読めるようになる人もいる。
- ・スマホを持ってない人は無理。今からやるのは…
- ・スマホでの見方について情報発信してほしい。
- ・町会役員の負担が減る(配らなくていいから)。



・そもそも全戸配布でなくても、閲覧でよいのでは？

・紙面の回覧とデジタル化の両方どつか？

これらの話を整理すると…

- ・スマートフォンを使いたくない人の意思を尊重すること(スマートフォンを使うのも使わないのも個人の自由)
- ・スマートフォンを使いたいが使えない人への支援が必要(金銭的な援助、技術的な援助など)
- ・町会における配布作業の負担軽減(人のつながりの希薄化への懸念)
- ・全戸配布から回覧への変更による紙の削減
- ・すべての情報をデジタル化するのではなく、紙面とデジタルの両方で発行することが妥当

私たちはこれまでも、時代の変化に対応してきました。昔は当たり前だった手書きも、今はパソコンやスマートフォンに入力しています。ニュースや情報は、新聞や雑誌などの紙面に加えインターネットでもいつでも見られるようになりました。また、コ

開館20周年記念 特別事業実行委員会 開催

令和4年度に、大手公民館は開館20周年を迎えます。20周年を晴れやかに迎えるために、3月2日、第1回目の開館20周年記念特別事業実行委員会が開催されました。実行委員会は、地区団体の役員を中心に構成され、今回は三役の選出、特別事業のスケジュール、予算案、記念誌などについて協議がされました。

特別事業には、お花見会、記念講演、七夕祭り、親子キャンプ、ふれあい祭り、クリスマスコンサート、新春記念落語など、これまで公民館で行われている行事に加え、新しい行事も計画されています。また、間近に迫ったお花見会について、開催日や開催場所、開催内容などについて協議が行われました。コロナの状況もありますが、2



中止となつていいるお花見会の開催を機に、気持ちよく20周年を迎えたいものです。お花見会の詳細は、4月1日付けの大手公民館ニュースをご覧ください。

記念誌編集委員会では、館報編集委員会を中心に昨年の8月から記念誌の内容を協議しています。「ドローンで中央地区を上空から撮影した写真を載せてはどうか?」「二次元コードを読み取って様々な動画が見られたら面白いのでは?」「旧開智学校の国宝指定や、コロナの影響についてコラムを作ってはどうか?」など、時代を踏まえた内容が検討されています。

20周年記念特別事業については、館報まちななかでも取り上げ、読者の皆さんへご報告していきます。

ロナ対策として、オンライン会議にも対応をせざるを得ない状況にもなりました。

これからは、一段とデジタル化が進むのでしょうか。より便利な世の中になり、何でもロボットがやってくれて外出しなくても暮らせる…これも一つの将来像かもしれませんが、充実した暮

長元坊 チョウゲンボウ

我が家には何本かの梅の老木がある。寒気の中で、「つぼみ」をふくらませ、りと咲く梅の花には、深い精神性を感じる。

「梅花爛漫」

…私の大好きな言葉!!

「梅一輪!!」

一輪ほどの暖かさ」

梅は春のさががけ、心待ちにしていた、春の訪れをいちばんに告げる花木です。

日本人の美意識は季節感と共にあり、日本の伝統文化「いけばな」でも梅は古くから大切な花材として扱われ、さまざまな花型や趣向が育まれてきました。

新年!!月日の過ぎることのなんと早いことか!!年齢を重ねるごとに、一年走馬灯のごとく早い。今年は、はるか遠くまで広がる大海原のようにゆったりと過ごしたい。そして静かに、自分の心と向き合い、自分が本当にしたいこと、欲しいもの、大切にしたいこと!!など望む未来の形が見えてくるはず!!とのこと…

やってみたい!!楽しそう!!という心の声を大切に心が弾む体験をいっぱいできたらいいなあ…

また、末広がり生きていく一年にしたい。

(F・Y)

私のラジオ体操



ラジオ体操は1928年(昭和3年)昭和天皇(即位の大札を記念し「国民保険体操」として始まった。途中戦争などで中断されたが、復活を望む声も多くそれに応える形で新たな体操が出来た。

「簡単容易で誰にでもできるもの」「何処でもすぐやれるもの」「調子よくて、気持ちいいもの」というコンセプトで健康増進が出来るように、一つ一つの動きが練りに練って作られた。それが毎朝のラジオ体操で1951年(昭和26年)以来70年余り続いている。

現役時代は怪我防止・健康増進ため、始業前のラジオ体操を何十年も続け、身体にしみついていて。退職後この地に移って、松本神社の体操仲間に入れてもらった。

コロナ禍が始まった2年余り前は全国ラジオ体操連盟から「ラジオ体操中止が望ましい」との意見も出されたが、三密を避けられるお城の広場に場所を変え今に至っている。ラジオ体操のため朝5時45分(一日の絶対始点と決めている)に起床し、お城の広場で体操し、みんな(最近奇跡的にも信大新人女子学生が仲間入り)でとりとめのない話で大笑いし、スズメや白鳥と遊びながら朝食の待つ帰路につく。

幸せな一日の始まりである。感謝！感謝！ (M・T)

中央地区の樹木⑨

杏(アンズ・杏子)

分類…バラ科 サクラ属
原産地…中国

落花生低木～小高木(4～6m)、開花期は3月～4月で、果実期は6月～7月、花は淡いピンク色で夏冷涼な気候を好みリンゴ同様の北方系の果樹です。

写真は松本城の埋の橋(うずみのはし)にある杏の木です。観光客と思われる人から「これは何という種類の桜ですか?」と何度か聞かれた事があります。満開に咲くと桜に優るとも劣らない華やかな姿を見せてくれます。この号が発行される頃には咲き誇っているかもしれません。(U・M)

(講談社「庭木の本」より引用)

利用団体代表者会議より

毎年、公民館を利用している団体向けに、公民館の基本的事項や、利用する上での注意事項をお伝えする、利用団体代表者会議を行っています。大手公民館を利用する団体は約60団体です。様々な活動が年間を通して行われています。

公民館は社会教育法に規定されている社会教育施設であり、地区住民の皆さんの教養の向上、健康の増進、情操の純化、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与するよう、事業を行うとされています。また、会議室などを住民の集会所その他公共的な利用に貸し出すことも事業の一つとなっています。住民の皆さんの様々な活動がより充実するよう、支援していくことも公民館の役割です。



①つばみの様子 ②杏の木

利用団体代表者会議は、公民館と利用団体がお互いを知り、意見交換をする機会にもなっています。「こういったことでは使えますか?」「市役所の会議と利用団体の利用のバランスを上手くとってほしい」「皆さんが気持ちよくつかえるよう清掃・消毒をしましょう」…。

今年度の振り返りを編集委員の皆さんで行いました。コロナウィルスの流行が止まりません。昨年末からの第6波における、まん延防止等重点措置の発令により、館報にも影響が出て掲載する記事に苦勞しています。公民館活動を知ってもらい、自分もちよつと参加してみようかと思ってもらうために、公民館行事や授業の紹介報告が主な内容になっていますがその多くは中止または延期となつてしまいました。そんな中でも行う事が出来た活動については一つでも多く掲載していきたいと思っています。

新年初顔合わせ

1月5日、大手公民館大会議室において中央地区新年初顔合わせ会が開催されました。

地区関係団体役員、地区住民など約50名が参加して、地区の健康づくり推進員、民生委員、日赤奉仕団、町内公民館町会、ボランティア部会の皆さんお手製のお雑煮やお漬物を食べながら歓談し、親睦を深めました。

また、藤村町会連合会長を初め、年女、年男含め5名の方による鏡開きが行われ、一年の無事とまん延するコロナ禍が一瞬早く収束するように祈りを込めました。(K・T)

コロナ禍の一年を振り返って

今年度の振り返りを編集委員の皆さんで行いました。

コロナウィルスの流行が止まりません。昨年末からの第6波における、まん延防止等重点措置の発令により、館報にも影響が出て掲載する記事に苦勞しています。公民館活動を知ってもらい、自分もちよつと参加してみようかと思ってもらうために、公民館行事や授業の紹介報告が主な内容になっていますがその多くは中止または延期となつてしまいました。そんな中でも行う事が出来た活動については一つでも多く掲載していきたいと思っています。

早くコロナウィルスが終息し館報に掲載する記事に困らないくらいに活動が再開されることを祈ります。(M・U)

コロナに明け暮れた一年でした。共存するよりしよつがなと思います。(S・A)

コロナにより、生活の縮小を感じた。これまでが贅沢しすぎなのか?と考える機会となりました。(M・T)

思う存分行動が出来ず、色んな事が出来なくて心苦しかったです。(F・Y)

生活が乱れてしまった。温暖化とコロナは人類の危機では? (K・T)